



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2022/5/9 №104

「変革 2027」の実現に向けた組織の再編について

その②

1, 現業機関の再編の特徴点

(1)(営業)統括センター関係(駅・乗務員)

引き続き、現業機関と企画部門の業務分担を見直し、お客様に近い場所で自らスピーディーに価値創造・課題解決できるようにする。6つの委員会を中心に、企画業務に主体的に取り組んでいく。さらには…

- ・各種 CS 全般、エリア内における列車荷物輸送や JREMALL、電子マネー加盟店拡大など事業促進活動
- ・CS マインド醸成・観光型 MaaS の連携先拡大などの販売促進活動・ESG 経営の推進…など

(2)車両関係

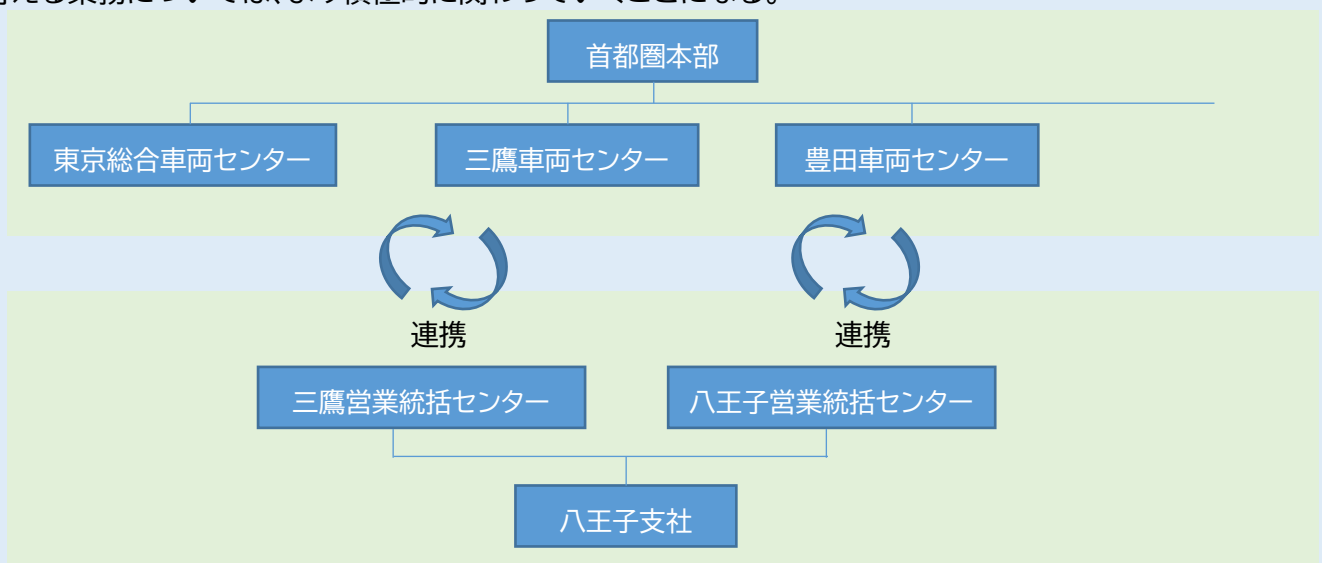
三鷹車両センター及び豊田車両センターを首都圏本部の現業機関とすることで、1, 業務領域を拡大し、2, 車両ネットワークを活かした効果的な体制を構築する。

支社機能を首都圏本部に集約することで、効果的な運営体制の構築が目指されていく。支社が担っていた業務の一部を今後は現場(総合車両センターおよび車両センター)で担っていく。

例:支社企画課で担っていた仕業検査、構内業務等が総合車両センターに移管

支社車両課で担っていた車輪転削、車両改造設計や改造工事等が総合車両センターに移管
車両センターの再編は2023年6月とする。

また、車両センターと営業統括センターと系統横断して連携し、イベント企画や増収活動のほか、効率的に行える業務については、より積極的に関わっていくことになる。



その③に続く